

## 本市と天文学との つながり

人は太古から、旅の目印や農作業  
時期の目安、暦を作る資料にするな  
ど、生活の中で星を利用してきまし  
た。それは時代とともに天文学とし  
て確立し、宇宙や星の起源を探るま  
でに発展。本市に立地する国立天文  
台水沢VLB I 観測所では、電波望  
遠鏡を使って銀河の立体地図作成に  
挑むなど、最新の観測・研究が行わ  
れています。

その国立天文台水沢の前身、緯度  
観測所ができるよりも前に、この地  
に先進の天文学を伝えた人物がいた  
のを知っていますか。

8月22日、国立天文台水沢キャン  
パスを会場に開催された「いわて銀  
河フェスタ2015」(同実行委員会



国立天文台水沢の20mアンテナ（電波望遠鏡）

主催で、「この地の江戸後期の天文  
学がすごい!」と題し講演した、特  
定非営利活動法人イーハトーブ宇宙  
実践センターの大江昌嗣理事長に聞  
きました。



奥州宇宙遊学館が再現し、天文学習に使っている渾天儀（左）と象限儀（右）

### 小圃仲達と三偉人

水沢区吉小路に生まれた小圃仲達  
(1746年〜1806年)は、江  
戸や長崎で蘭学、医学を学んだ後、  
仕えていた水沢伊達氏(留守家)の  
命により仙台藩で天文学を学びまし  
た。当時の仙台藩は、幕府の暦の改  
正に関わった戸板保佑や遠藤清寅な  
ど、優れた人物を輩出する天文学の  
先進地でした。

小圃は戸板保佑の弟子・藤広則に  
学ぶと、自ら書き写した算術書や暦  
書解説書など多くの天文書を水沢に

持ち帰り、太陽と月の軌道を表す  
「渾天儀」を作成。弟子たちの学習  
に用いたとされています。

渾天儀は、水沢の仙台藩学問所  
「立生館」から水沢小学校へと引き  
継がれたと言われていますが、現在  
は所在不明です。

水沢の三偉人と言われる高野長英  
は、医学だけでなく天文学にも通じ、  
天文書の翻訳本を発行しています。  
また、後藤新平や斎藤實は幼少期に  
立生館で学び、その後偉大な功績を  
残しています。彼らの学びの礎に、  
小圃が伝えた天文学があつたのでは  
ないでしょうか。

緯度観測所の設立は、世界6カ所  
の北緯39度8分地点で緯度変化を観  
測する、国際的なプロジェクトでし  
た。日本で水沢の地が選ばれたのは、  
星空が見える自然環境はもちろん、

地盤が固く地震の影響が少ない、潮  
風がなく晴天率が高いなどの地理・  
気象条件のほか、地域住民の関心が  
高く、文化面で観測を支援できる環  
境だという国内での理解があつての  
こと。市民の皆さんに支えられて現  
在も観測・研究が続けられている下  
地には、このような先人たちの歴史  
があつたのです。

### 遊びと学びをつなぐ 奥州宇宙遊学館

「星を見て自然を感じることで好  
奇心が広がる。それが学びの原動  
力」と大江理事長は語ります。

奥州宇宙遊学館では、毎月第2土  
曜日に星空観望会を実施。そこでは、  
惑星の学習会や星空シートを作成す  
るワークショップ、朗読会や音楽鑑  
賞会など、星をテーマにした催しを  
行い、楽しみながら学べる機会を提  
供しています。国立天文台水沢や市  
と実行委員会を組織して毎年開催し  
ている「いわて銀河フェスタ」でも  
星空観望会が行われ、国立天文台の  
施設などを見学した参加者たちは、  
興味深く星空を眺めます。

「見るのが科学の始まり——」。  
奥州宇宙遊学館は、星空観望会を通  
じて、次の時代を担う奥州っ子たち  
の学びの心を芽吹かせています。

### 今回掲載したスポット



#### 奥州宇宙遊学館

水沢区星ガ丘町2-12(☎2020)  
※開館時間は午前9時〜午後5時(毎  
週火、12月29日〜1月3日休館)

旧緯度観測所本館を  
改修したもので国立天  
文台水沢キャンパスに  
立地。常設展示や4次元  
デジタル宇宙シアター  
などで宇宙や銀河を学  
べるほか、サンデース  
クールやサイエンスカ  
フェなど科学に触れる  
イベントも定期的に開  
催しています。



#### 北股地区センター 星空の広場

衣川区小田212(北股地区センター・  
☎6513)

衣川天文台やほしぞ  
ら観察所、トイレや水道  
を備え、毎年8月のペル  
セウス座流星群観望会  
のほか、北股地区振興会  
や衣川星を観る会など  
が不定期でイベントを  
開催しています。行事予  
定や利用方法などは、北  
股地区センターまでお  
問い合わせください。

指定管理者として  
奥州宇宙遊学館を管理運営

特定非営利活動法人  
イーハトーブ宇宙実践センター  
おおえまさつぐ  
大江昌嗣 理事長(74)

# 星空と歴史・科学を学ぶ